



TOKAIホールディングス

第15期

株主通信

2025年4月1日から2026年3月31日まで

証券コード: 3167

暮らしに社会に もっと笑顔を。





持続的な社会の実現と 企業価値の向上を 目指してまいります。

代表取締役社長(CEO) 小栗勝男

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第15期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)の株主通信をお届けいたします。

当社グループは、1950年の創立以来、人々の生活や社会インフラに係る多種多様なサービスを提供しています。これらのサービスの広がり背景には、お客様のあらゆるニーズにお応えし、一心にお客様の喜びや満足度を高めたいと考える企業文化があります。お客様や地域の皆様に寄り添い、より安心・安全で、充実したサービスを追求してまいります。

また、2026年度より「中期経営計画2028」を始動しました。事業成長と株主還元の両輪によって資本効率の最大化を図るとともに、長期的な視点から人材育成や環境貢献にも積極的に取り組み、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指してまいります。

私たちの事業活動は、株主様、お客様、お取引先様、地域社会の皆様など多様なステークホルダーの皆様のご支援をいただいております。株主の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当期の業績について

顧客件数が増加し、法人向け情報通信事業が伸長 売上高、全ての利益項目で過去最高を更新

当社グループは、最終年度を迎えた「中期経営計画2025」の目標達成に向けて、全社一丸となって事業に取り組みました。

当期の業績については、エネルギーの仕入価格に連動した販売価格の引き下げ等があった一方で、グループ顧客件数の増加等による増収や情報通信事業の法人向けストックビジネス拡大等により、売上高は2,448億円(前期比0.6%増)と、9期連続の増収で過去最高を更新しました。

利益面については、グループ顧客件数増加に伴う増益、法人向け情報通信事業や建築設備不動産事業の増益に加え、顧客獲得費用の削減および諸経費の抑制に努めた結果、営業利益は187億円(前期比11.0%増)となり、全ての利益項目で3期連続の増益を達成し、過去最高を更新しました。

これらの結果、当期の期末配当は期初予想の17円から2円増配して19円とし、年間配当金36円とさせていただきます。

当社グループの収益の源泉である顧客基盤については、中期経営計画の達成に向けて積極的な顧客獲得に取り組んだことにより、前期末から48千件増加させ、3,471千件となりました。

主要事業における取り組みについて

エリア拡大やM&Aに精力的に取り組む 情報通信事業ではクラウドサービスが拡大

ガスを中心としたエネルギー事業では、国内市場が成熟する中、新たな需要を開拓するため、営業エリアの拡大およびM&Aを積極的に推進しています。当期においては、新規顧客獲得に注力するとともに、顧客獲得費用の見直しを図りました。引き続き、中京・西日本地域を中心にエリアの拡大に努めていきます。

情報通信のコンシューマ向け事業では、大手携帯キャリアと連携する等、顧客獲得を推進しました。法人向け事業では、クラウドサービスおよびネットワークサービスが順調に進捗しました。また、九州エリアのさまざまな産業に向けて、クラウドやAIサービスへの接続をはじめとする企業のDX推進を支援するため、2025年4月にグループ所有の通信インフラを九州エリアまで延伸し、サービス提供エリアを北関東から九州までに拡大しました。今後も、このネットワークを活用して法人向け情報通信事業をさらに拡大していきます。

CATV事業では、地域密着の事業者として地元の情報発信や番組制作に注力し、魅力的なコンテンツの充実に努めるとともに、営業活動を積極的に実施し、顧客件数を増加させました。

建築設備不動産事業では、設備工事や不動産販売の受注が順

2026年3月期 実績

売上高

244,838
百万円

前期比 + **0.6** %

営業利益

18,699
百万円

前期比 + **11.0** %

経常利益

19,152
百万円

前期比 + **10.3** %

親会社株主に帰属する 当期純利益

10,749
百万円

前期比 + **16.6** %

調に推移しました。

アクア事業では、大型商業施設等での催事営業やWEB獲得、テレマーケティング等により更なる顧客基盤の拡充に取り組んだことで給水型浄水ウォーターサーバーサービス「しずくりあ」の顧客獲得が順調に進み、顧客件数を増加させました。

「中期経営計画2028」について

マテリアリティ(重要課題)を見直し、「Triple Accel 戦略」のもと、成長の加速を図る

当社グループは、お客様の暮らしのために総合生活サービスを提供しています。お客様の生活基盤をしっかりと支えるとともに、日本の地域課題や社会課題、さらには地球規模の課題解決にもこれまで以上に貢献し、「社会価値創造企業」への飛躍を目指していきます。

そこで、「マテリアリティ(重要課題)」を見直し、新たに「サステナビリティ戦略4つの柱」を策定しました。4つの柱とは、「笑顔あふれる暮らしへの貢献」「果敢にチャレンジする人財・組織」「環境に配慮した事業活動の推進」「ガバナンスの強化」です。この4つの柱それぞれに「2030年目指す姿」を定め、その実現に向けて取り

組んでいきます。

「中期経営計画2028」では、事業の成長と株主価値の拡大の両面を牽引する指標として、ROEを重視し、2030年度にROE15%の目標を掲げました。この目標を達成するために、事業成長戦略と財務・資本戦略の実行により、加速度的な成長を目指していきます。

事業成長戦略としては、「Triple Accel 戦略」を掲げました。事業の拡大には、「Areaの拡大」(エリアの拡大)、「Accountの増加」(顧客数、口座数等の増加)、「ARPU向上」(サービスメニューの充実)、この3つの方向性での同時成長が不可欠です。いずれも頭文字が“A”で始まることから、「Triple Accel 戦略」と名付け、3方向すべてで成長を加速していくことを強調しています。「Triple Accel 戦略」に基づき、事業基盤の拡充と収益力の強化を両立し、持続的な成長へとつなげていきます。

財務・資本戦略としては、資本効率の向上、最適な資本構成を追求していきます。

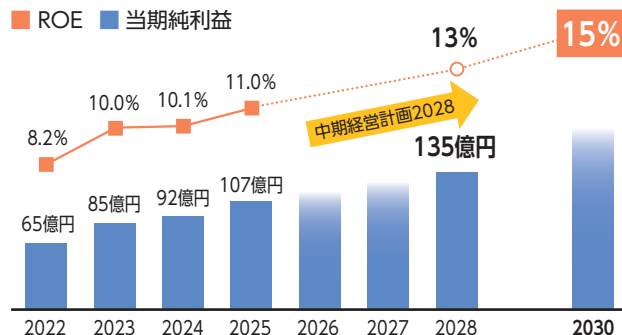
詳細は、p.7からの「特集」をご覧ください。

株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2027年3月期 業績予想

	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想
売上高(百万円)	244,838	260,000
営業利益(百万円)	18,699	19,000
顧客件数(千件)	3,471	3,500

2030年に向けた長期ビジョン



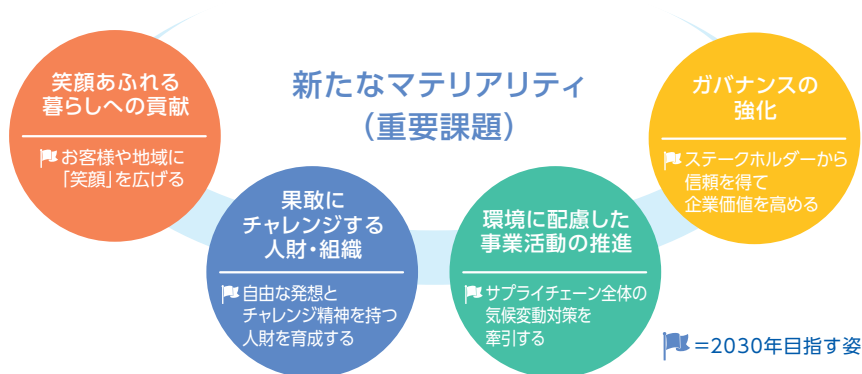
01 マテリアリティ(重要課題)の見直し

当社グループは、2021年12月にサステナビリティ基本方針を定めるとともに、マテリアリティ(重要課題)を特定し、社会課題の解決に貢献しながら、企業価値の向上を目指したサステナビリティ活動に取り組んでいます。近年、当社グループを取り巻く外部環境は大きく変化しています。これらの環境変化に柔軟に対応するために、「中期経営計画2028」の始動に伴い、マテリアリティの見直しを行いました。

当社グループが社会や環境に果たすべき役割を再整理し、「TOKAIグループらしさ」を追求した4つのマテリアリティを新たに特定しました。

▼当社のマテリアリティについて詳しくは下のアイコンをクリックしてください。

マテリアリティ



02 「健康経営優良法人2026～ホワイト500」10年連続認定

経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2026(大規模法人部門)～ホワイト500」に2017年から10年連続で認定されました。グループ会社7社も連続で認定されました。

また、「健康経営優良法人2026(中小規模法人部門)」に2社が新たに認定となり、当社グループの認定社数は33社となりました。



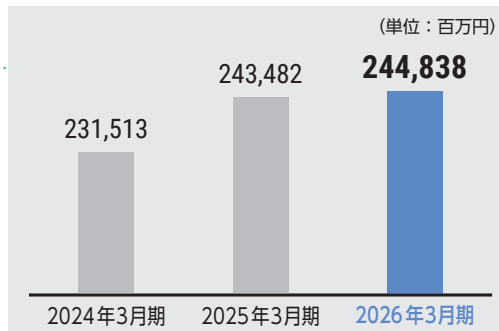
前期に引き続き、 売上高、利益共に過去最高を更新



9期連続の増収で過去最高を更新

244,838 百万円

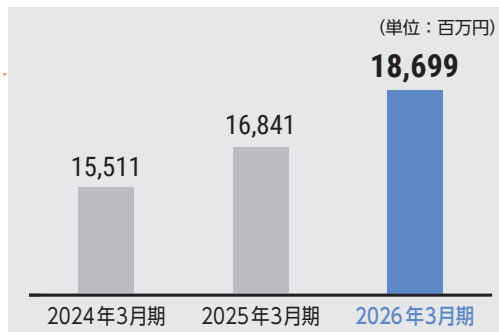
グループ顧客件数の増加、情報通信事業における法人向けストックビジネスの拡大が貢献し、前期比14億円(0.6%)増と、9期連続の増収で過去最高を更新しました。



3期連続の増益で過去最高を更新

18,699 百万円

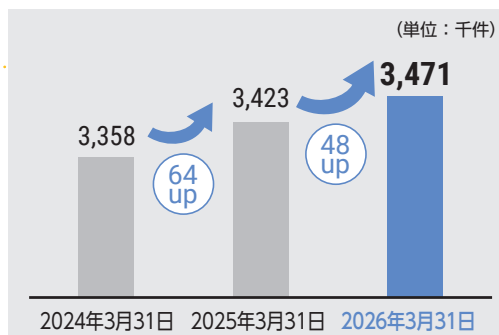
顧客件数増加に伴う増益が貢献したほか、法人向け情報通信事業、建築設備不動産事業の増益や顧客獲得費用の見直し等により、前期比19億円(11.0%)増と、3期連続の増益で過去最高を更新しました。



着実に顧客基盤が拡大

3,471 千件

中期経営計画の目標達成に向け積極的な顧客獲得を推進したことにより、ガス、CATV、アクアの顧客件数が大きく伸長。当期末における継続取引顧客件数は期初より48千件増加しました。



私たちは、さまざまな生活インフラサービスを提供することで、お客様の快適な生活を総合的、かつきめ細かくサポートしています。



その他

売上高 **5,876** 百万円

構成比 **2.4** %

主要な事業内容

婚礼催事、船舶修繕、介護、保険等多彩なサービスを提供しています。

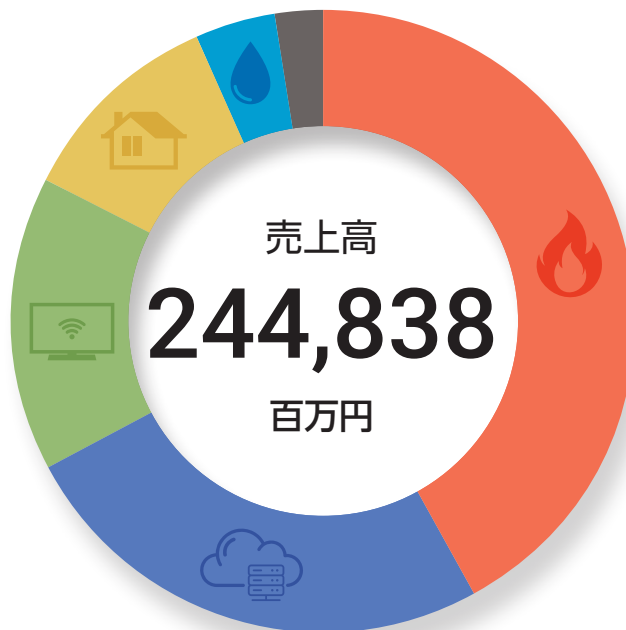
アクア

売上高 **10,087** 百万円

構成比 **4.1** %

主要な事業内容

安全な水と安心のサービスをご家庭にお届けしています。



建築設備不動産

売上高 **26,724** 百万円

構成比 **10.9** %

主要な事業内容

人とエネルギーに深く関わってきたTOKAIグループだからこそできる街づくり・住まいづくりを行っています。

CATV

売上高 **37,389** 百万円

構成比 **15.3** %

主要な事業内容

地域に根差した放送・通信サービスの提供を通して、コミュニティーを創造しています。

エネルギー

売上高 **102,937** 百万円

構成比 **42.0** %

主要な事業内容

暮らしに欠かすことができないガス・電気を中心に、環境に配慮したエネルギーインフラを安定的かつ安全に供給しています。

情報通信

売上高 **61,823** 百万円

構成比 **25.3** %

主要な事業内容

個人・法人のお客様に安心かつ便利なインフラとソリューションを提供しています。

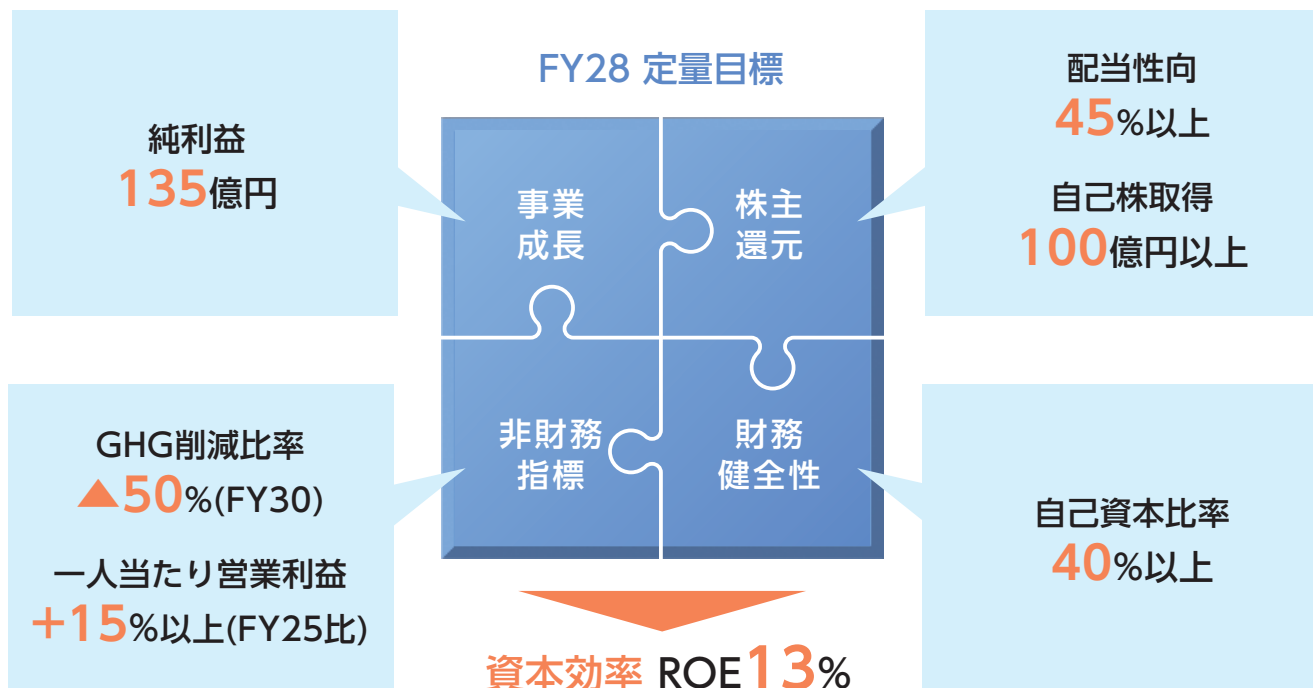
「中期経営計画2028」

本年5月8日に「中期経営計画2028」を発表しました。本計画では、事業の更なる飛躍的成長およびROE向上を軸とした資本収益性の強化に取り組みます。

今後ともステークホルダーの皆様のご期待にお応えし、企業価値の継続的な向上に努めてまいります。

中期経営計画の定量目標

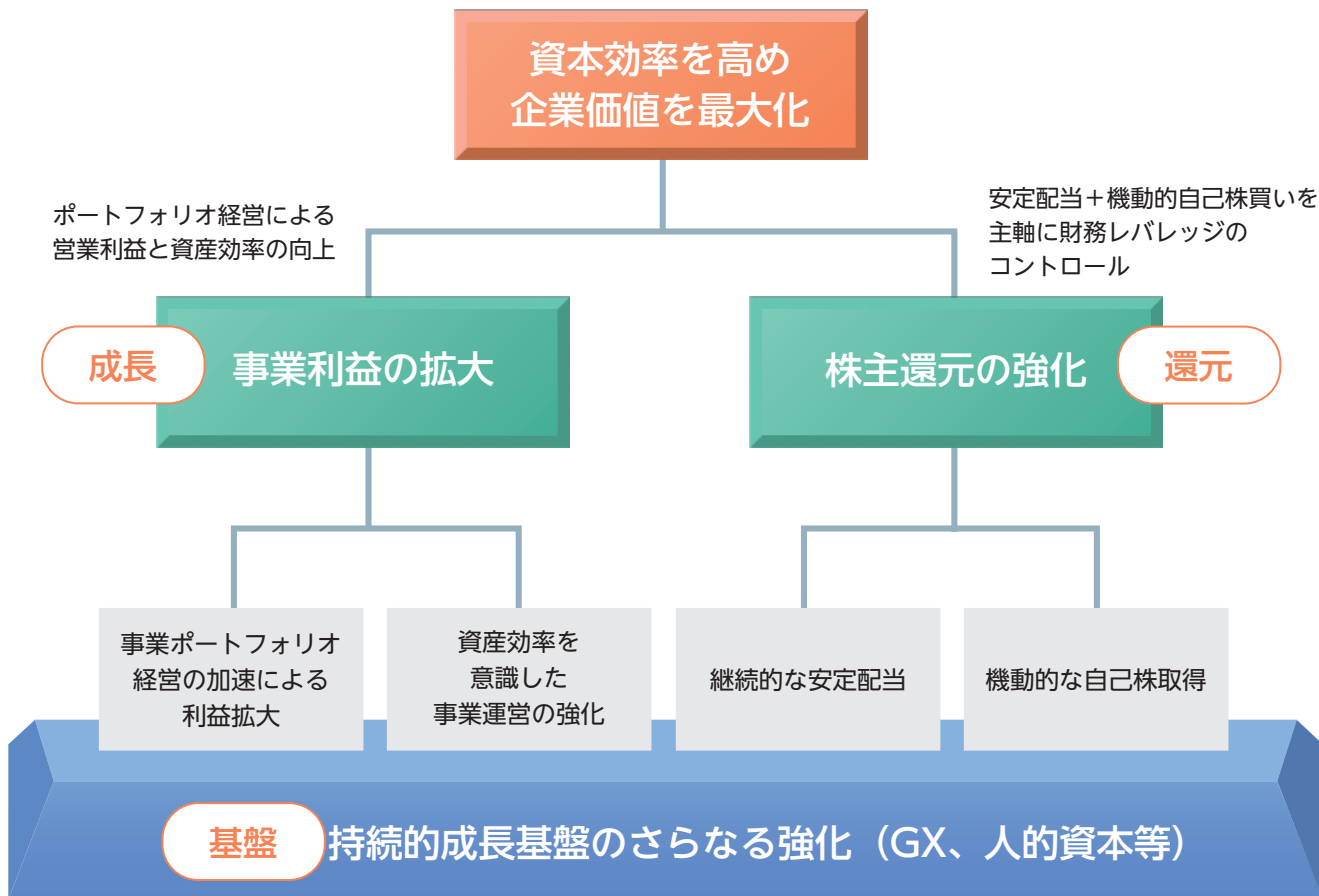
連動する各目標の達成を通じ、FY28に過去最高水準のROE13%を目指す



※FY…事業年度

中期経営計画の全体像

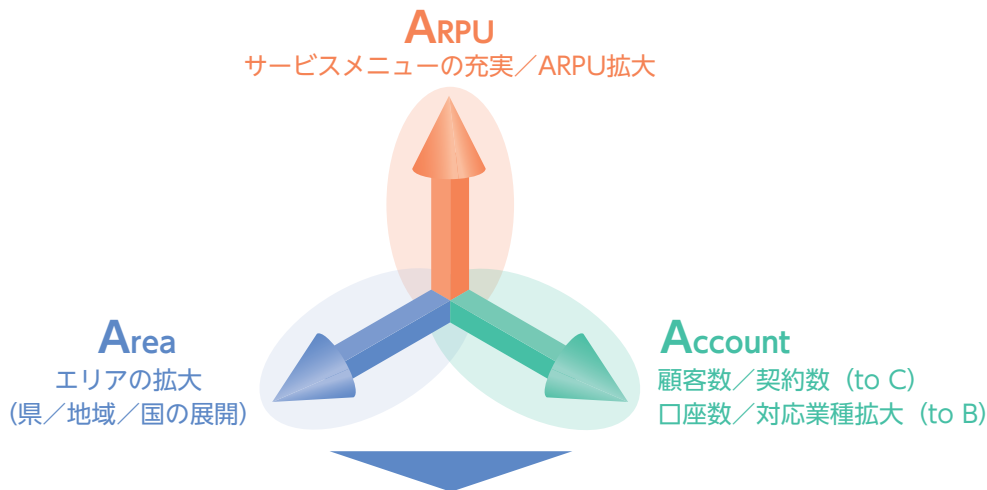
経営基盤強化のもと、事業利益拡大と株主還元強化の両輪により、
企業価値最大化を推進



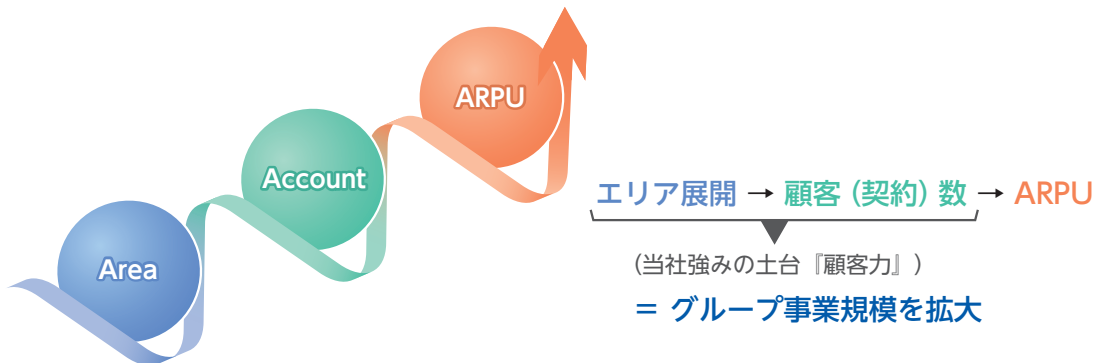
事業成長戦略

“Triple Accel戦略”で事業成長を加速度的に推進

“Triple Accel戦略”の3軸 (3つのAで成長を加速)



事業成長イメージ



グループ成長の核（成長3セグメント）

エネルギー、情報通信（法人）、CATVがグループ成長を牽引

エネルギー



FY25 実績

営業利益
106 億円

+14%

FY28 計画

営業利益
121 億円

成長の方向性

新エリアへの進出と
M&Aの加速

主要な投資

M&A
(投資・推進体制の整備)

情報通信（法人）



FY25 実績

営業利益
49 億円

+40%

FY28 計画

営業利益
68 億円

成長の方向性

クラウド市場での
シェアUPと新規取引拡大

主要な投資

エンジニア獲得、
ネットワーク設備投資

CATV



FY25 実績

営業利益
68 億円

+22%

FY28 計画

営業利益
83 億円

成長の方向性

関連オプションの拡充や
高付加価値プランの
推進によるARPU向上

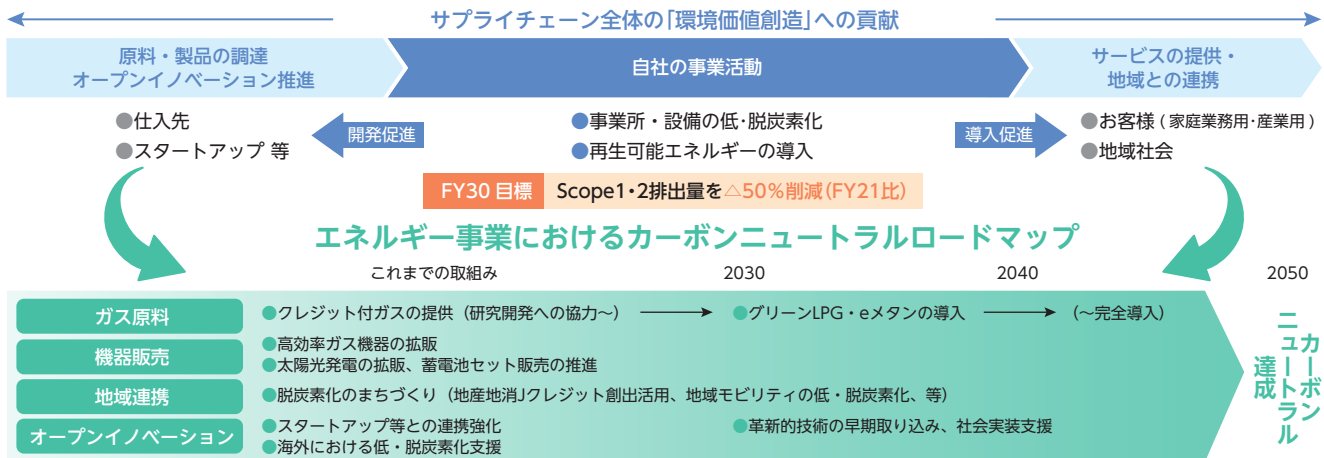
主要な投資

クロスセル促進、M&A

※FY…事業年度

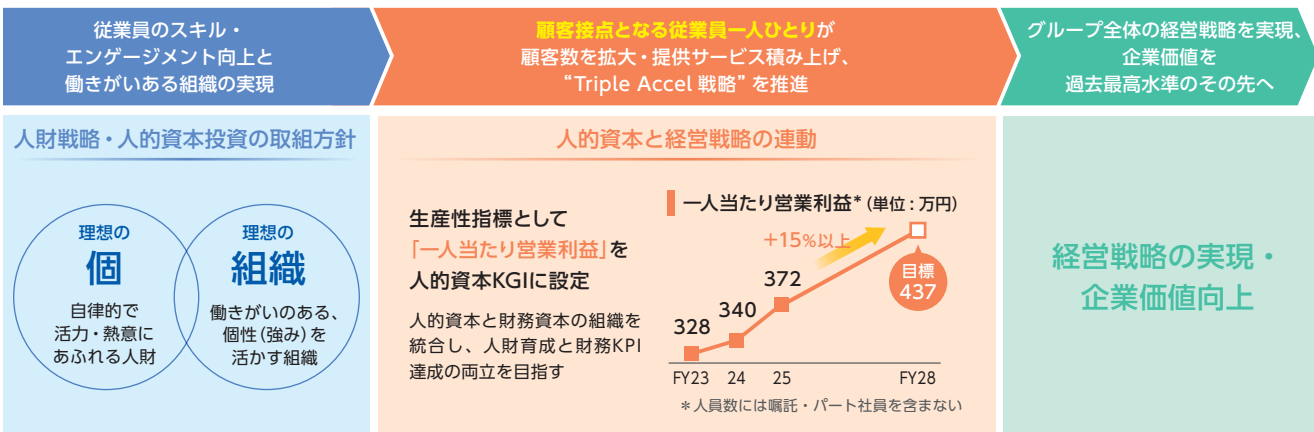
GX対応の全体像

サプライチェーン全体の「環境価値創造」と自社の「事業成長」を両立



人的資本・人財育成方針

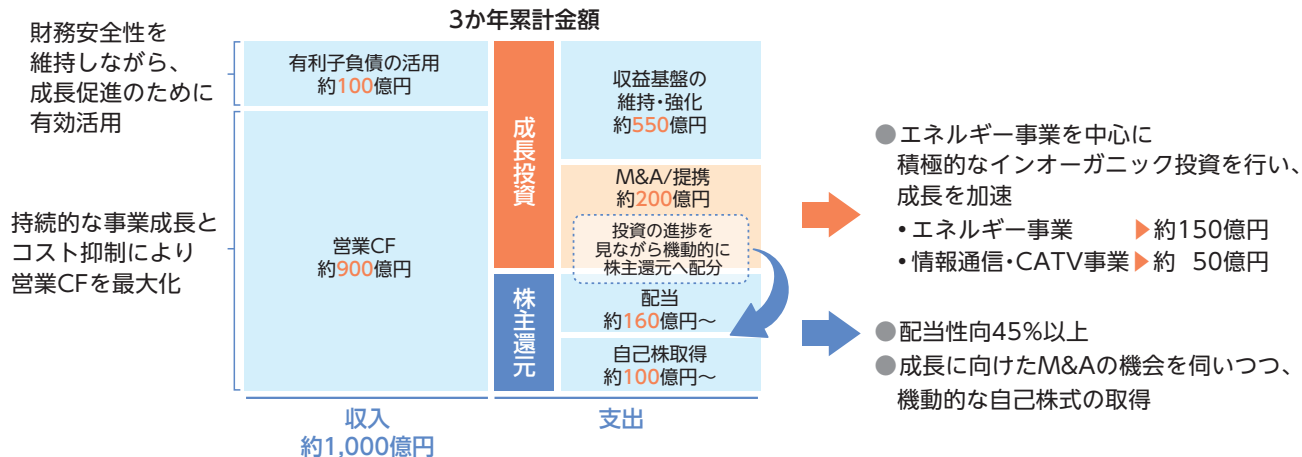
人財戦略・人的資本投資を生産性向上へつなげ、企業価値向上の実現へ



※FY…事業年度

キャピタルアロケーション

安定した利益成長を実現し、ROE向上に向け戦略的に配分

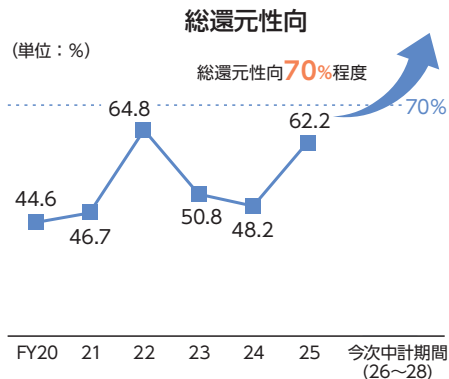
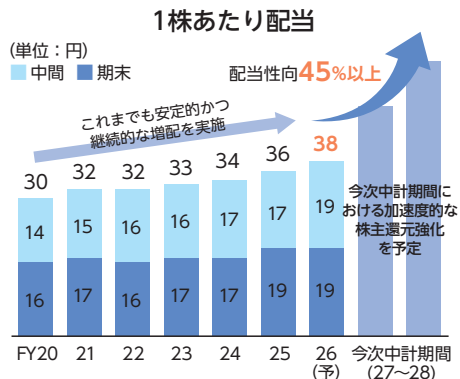


株主還元方針

これまでの増配基調を踏まえ、さらに株主還元を強化
 新中計期間は配当性向45%以上とし、“FY30 ROE15%”につなげる

従来
● 配当性向40～50%を目安
● 機動的に自己株取得も検討

今期中計期間
● 配当性向45%以上
● 成長に向けたM&Aの機会を伺いつつ、機動的な自己株式の取得
● 100億円以上の自己株取得















※FY…事業年度

株主優待品について

当社では、3月31日現在および9月30日現在の株主名簿に記載された1単元株(100株)以上ご所有の株主の皆様を対象に年2回の株主優待を実施しています。

優待品は、お持ちの株式数に応じて下記のコースからお選びいただけます。

A コース B コース C コース D コース E コース のいずれか1つ。		100株～299株	300株～4,999株	5,000株以上
A コース	アクア商品 「うるのん」「富士の天然水さらり」500mlペットボトル or 飲料水宅配サービス「おいしい水の宅配便」「うるのん」の全商品12リットル	 ×12本 or  2,170円相当 ×1本	 ×24本 or  4,340円相当 ×2本	 ×48本 or  8,680円相当 ×4本
		 500円分	 1,500円分	 2,500円分
C コース	「ヴォーシエル」「葵」お食事券	 1,000円分	 3,000円分	 5,000円分
D コース	グループ会員サービス TLCポイント (https://tlc.tokai.jp)	 1,000ポイント	 2,000ポイント	 4,000ポイント
E コース	格安モバイルサービス LIBMO (リブモ)	 2,100円分 6か月間 350円/月割引	5,100円分 6か月間 850円/月割引	11,280円分 6か月間 1,880円/月割引

さらに!

ご希望株主様に

グランディエール プケトーカイ
 婚礼10%+10万円割引券
 (割引上限 20万円)



+

「ヴォーシエル」「葵」
 お食事20%割引券
 (12枚つぶり)



IRメール配信
 サービスのご案内



当社の最新のIR情報をメールでお届けするサービスです。ぜひご登録ください。

ご登録はこちらから ▶ <https://www.tokaiholdings.co.jp/ir/magazine.html>



株主優待品はインターネットからお申し込みください



株主優待品はインターネットからお申し込みください。
お申し込み方法は6月末にお送りします「株主優待制度のご案内」を
ご参照ください。

お申し込み期限：2026年8月31日

株主優待お申し込みサイトにアクセス



検索サイトで **TOKAI 優待** **検索** を検索して、
<https://tokai-kabu.jp/202603/> にアクセス。



または右記のQRコードをスキャンし
アクセスしてください。



QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

株主様アンケートのお願い ▶ アンケート実施期間 2026年7月31日まで

当社は、株主の皆様のお声を頂戴して、IR活動を充実させたいと考えております。つきましては、アンケートサイトにアクセスいただき、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

アンケートにご協力いただきました株主様の中から抽選で1,000名様に**500円分のQUOカードPay**、またはTLC会員様を条件として希望者全員に**TLCポイント500ポイント**をプレゼントいたします。(どちらか一方をお選びください)

アンケートサイトURL

<https://tokai-kabu.jp/enq26/>



ログインID、パスワードは6月末にお送りします
株式関連書類に同封の「株主様アンケートの
お願い」をご確認ください。

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

会社の概要

(2026年3月31日現在)

会社名	株式会社TOKAI ホールディングス
設立	2011年4月1日
資本金	140億円
従業員数	5,033名(連結)
事業内容	エネルギー事業、情報通信事業等 を行う子会社等の経営管理および それに付帯または関連する業務

役員

(2026年6月25日現在)

取締役

代表取締役社長 (CEO)	小栗 勝 男
取締役	中村 俊 則
取締役 (非常勤)	浜崎 貢
取締役 (非常勤)	高橋 強
取締役 (非常勤)	岩本 光 司
取締役 (社外)	河島 伸 子
取締役 (社外)	上田 亮 子
取締役 (社外)	常峯 啓 史
取締役 (社外)	今田 智 久

監査役

常勤監査役	石間 尚 雄
監査役 (社外)	渥美 雅 之
監査役 (社外)	松淵 敏 朗
監査役 (社外)	小淵 洋 一

株式の状況

(2026年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	300,000,000 株
発行済株式総数	139,679,977 株
株主数	142,069 名

(注)2026年4月10日をもって、自己株式の消却を行ったため、発行済株式総数は1,834,400株減少し、137,845,577株となっております。


大株主〔上位10名〕

(2026年3月31日現在)

株主名	株式数(株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,915,200	9.97
鈴与商事株式会社	5,799,700	4.48
株式会社静岡銀行	4,065,527	3.14
TOKAIグループ従業員持株会	4,006,101	3.09
東京海上日動火災保険株式会社	3,986,887	3.08
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,394,800	2.62
光通信K K投資事業有限責任組合	3,178,600	2.45
アストモスエネルギー株式会社	2,724,848	2.10
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	2,697,582	2.08
明治安田生命保険相互会社	2,599,389	2.01

(注)自己株式10,146,752株は除いております。

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	3月31日 なお、中間配当を実施するときの基準日(株主確定日)は9月30日
1単元の株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
証券コード	3167
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	 0120 - 782 - 031

公告方法

当社のホームページ(<https://www.tokaiholdings.co.jp/ir/publicnotices/>)に掲載します。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

住所変更、単元未満株式の買取のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

株式会社TOKAIホールディングス

本社 〒420-0034 静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8
東京本社 〒105-0022 東京都港区海岸1-2-20

